「地域・在宅看護論実習Ⅱ」～健康の保持増進・疾病予防を学ぶ実習～

カテゴリー：②教育内容（実習）　　学校概要：田北看護専門学校（奈良県大和郡山市城南町 3-25）

３年課程　１学年定員数：40 名　修業年限：３年

実習内容：２年次　前期　30 時間　１単位

- 実習目的：地域で生活する人の健康を支援する活動を学び、看護師の役割を理解する。
- 児童・働き盛り世代・育児中の親・高齢者など発達段階に応じた関連施設に学生がそれぞれに分かれて実習に行く。
- 地域で活躍している養護教諭・産業看護師・保健師・外来看護師などから指導を受け、様々な施設での健康の保持増進・疾病予防支援活動の実際を理解する。
- 臨地で学んだ内容をジグソー法を活用した協同学習による発表会を行い、学びの共有を行う。
- 発表会後、実習記録で「教育・仕事・生活・疾病」それぞれと「健康」とのつながりついて考えをまとめる。
- 「私の考える、地域で生活するすべての人の暮らしを支える看護の意義と自己の課題」をテーマにレポート提出を行うことで自己の看護観を深める。

地域・在宅看護論実習Ⅰ～Ⅳの理解すべき内容と実習場所

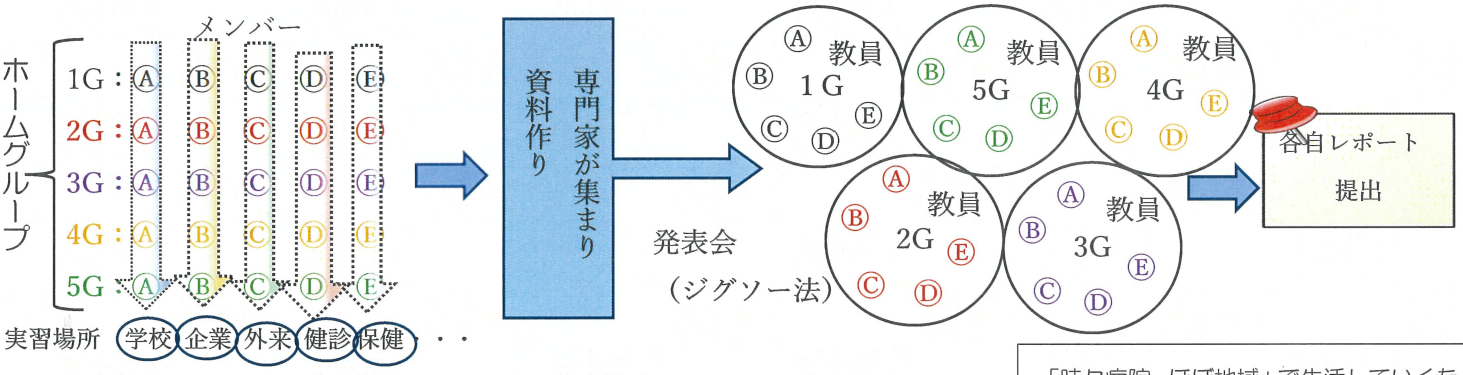
Ⅰ（１年後期）：地域における環境と生活：大和郡山市の地域探索と公民館のクラブ活動に参加

Ⅱ（２年前期）：健康の保持増進・疾病の予防に関わる看護：小学校・外来・企業・保健センター・健診センター

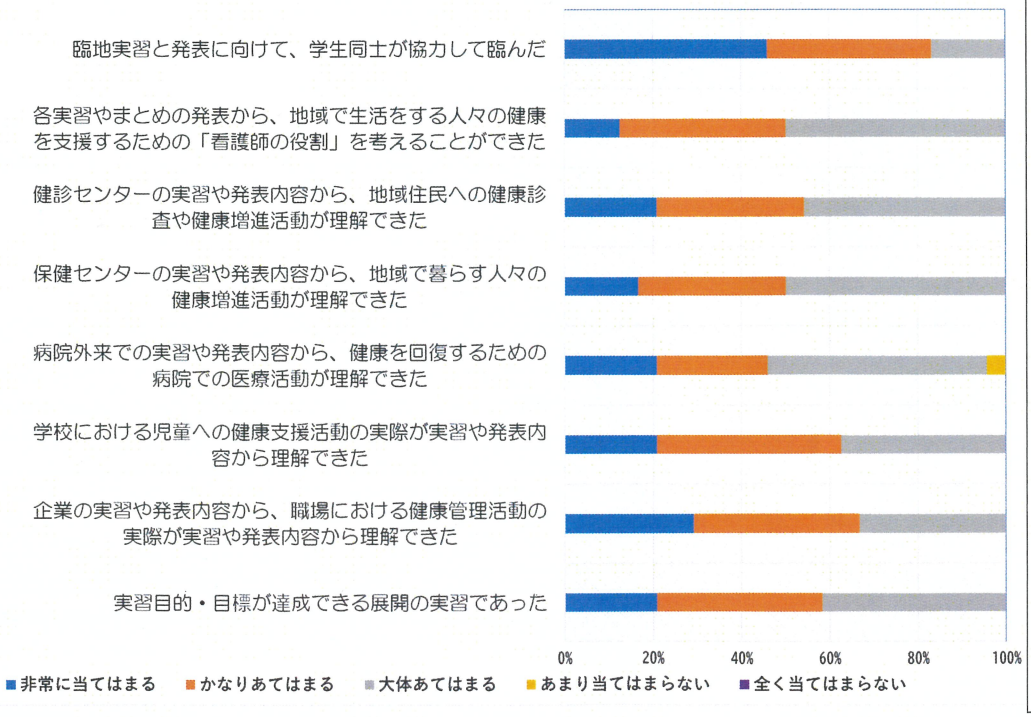
Ⅲ（３年）：地域の様々な場での生活を支える看護：介護老人保健施設・介護老人福祉施設・地域包括支援センター

Ⅳ（３年）：在宅療養する人を支える看護：ショートステイ・看多機・グループホーム・デイサービス・訪問看護ステーション

【実習の流れ】



学生アンケート結果　2025年度　　n＝24



「時々病院、ほぼ地域」で生活していくための基盤である地域包括ケアシステムの中に看護職が大きな役割を担っている。この実習では病院以外の地域の多様な施設で活躍している看護職の存在を知り、子供から高齢者・働き盛り世代・育児中の親などに向けた健康支援の実際に触れることで看護の対象の広さ、世代に応じた支援を行う看護職の役割の重大さに気づく実習になっている。この地域・在宅看護論実習Ⅰ～Ⅳの実習を積み上げていくことで病気にならず地域で生活していくための支援も看護職の役割であること、その医療チームの一員として、看護をとらえ、地域のコミュニティにも目を向けられる看護師として教育していきたいと思う。